

中学校区におけるめざす子ども像	9年間を通じて、自分のよさを知り、失敗を恐れないで挑戦する子	堺市立金岡南中学校 校長 齊 田 浩
-----------------	--------------------------------	-----------------------

令和7年度 重点目標
人間尊重の精神を基盤として
「学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する。」「自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する。」
ことを目指してスケールメリットを生かしたチーム力による実践を展開し、学びがい、働きがいを実感できるザ・金岡南中学校を創る。

確かな学びの現状	豊かな心・健やかな体の現状
・GIGAスクール構想推進校として構築した教職員の高いICT活用力等に基づいて、高い水準の授業が展開されていることが学校教育アンケート、各種テスト結果等からも伺える。 ・安定的な授業基盤が構築できていることを背景に、積極的に授業に取り組んで自分の考えをまとめたり、発表したりできる生徒の厚い層が形成されている一方、基礎学力向上が求められる生徒に対する個別的、効果的な働きかけを継続する必要がある。 ・課題への取組等については高い水準にある一方、学びに対して受動的も面が認められるため、自ら学びに向かう姿勢の重要性を理解させるなど、主体的に学びを進められるよう働きかけを進める必要がある。	・全般的に安定した状況を維持するなかで、校外学習、体育大会、フェニーチェにおける文化活動発表会などを通じて、知識・技術・技能だけでなく、生徒の自己肯定感を高める取組を展開して成果が得られている。 ・部活動は活発で大会等でも成果を上げているほか、休み時間にも自主的・意欲的に体を動かす生徒が多い一方、休み時間を利用した仲間との交流に消極的・傍観的な生徒が一定数存在している。 ・教室に入りづらい生徒のために開設した「なんちゅうルーム」に加え、通級指導、スクールカウンセラーの関与などの重層的な対応によって一定の成果が得られているものの、不登校等への取組を一層強化する必要がある。 ・いじめ重大事案を含むいじめの根絶には至らず、継続した働きかけが必要な状況にある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	・落ち着いた教育環境に基づく秩序と活気のある教育活動を展開し「総合的な学力」を育成する	スケールメリットを生かした教育環境を維持しつつ、数学・英語の少人数指導の充実、3年生のモジュール授業導入等を推進する	授業が楽しいと答える生徒の対前年比増加等	学校教育アンケート等	年度末	○	・モジュール授業が定着したため、授業時間数の確保や登校直後の時間帯の有効活用に効果を上げている。 ・ICT活用を進めるとともに各種研修を効果的に行うことにより授業方法の改善を進めている。			
		・ICT機器の活用等に基づく深い学びの場を構築し、信頼性・妥当性の高い評価と併せて授業の質的向上を図る	●実践的な研修の充実に基づく職員の授業スキルのアップやICT機器の効果的な活用による授業方法の改善を進める	校内研修に対する教職員の肯定的回答の対前年比増加等	学校教育アンケート等	年度末	○				
	学力の向上	・自主的な学習の習慣化に結び付く授業展開と指導を推進する	●「学びのコンパス」「堺STEAMブック」導入を踏まえた研修に基づく授業展開により学力の向上を図り、自ら進んで学習できる基盤を構築する	校内研修実施状況及び授業に関する生徒の肯定的回答の対前年比増加等	学校教育アンケート等	年度末	△	・学びのコンパス等を踏まえた研究授業を重ねているほか、校外の研究会等に積極的に参加している。 ・GIGA端末活用を引続き推進するとともに、iPadへの機材更新のための対応を進めている。			
		・自ら進んで学ぶ意欲を喚起し、学力低位層の減少を図る	Society5.0を見据えたGIGA端末の活用推進等に基づいて、自ら進んで課題に取組む習慣を身につけさせる	GIGA端末、提出物及び家庭学習に関する肯定的回答の対前年比増等	学校教育アンケート等	年度末	○				
豊かな心・健やかな体	社会適応力の向上	・9年間を通じて小中連携を基盤とした自尊感情を高める働きかけを継続することにより、自らの長所や短所を理解し、他者を大切にしながら、多様化する社会の変化に適応できる力を養う	★キャリアパスポートを用いたキャリア教育、いのちの授業、障がい者理解教育など自分と他者との関係を見つめる活動を重層的に展開するとともに、スクールカウンセラー、関係機関等の効果的な関与を推進する	関係機関等との連携状況及びキャリア教育、障がい者理解教育等に関する生徒の肯定的回答の対前年比増	学校教育アンケート等	年度末	○	・バラスポーツについて継続的に同じ競技団体に協力を得るなど、生徒の成長発達に沿った効果的な指導体制を構築している。 ・いじめの早期発見・早期対応に努めている。			
		・学校いじめ防止対策基本法にもとづくいじめ対策の徹底を図るとともに、なんちゅうルーム、通級指導等を通じて安全・安心な学びの場を提供する	●「学校いじめ防止対策基本方針」に基づく校内体制を整備・維持し、外部機関等とも連携していじめの未然防止、早期発見・解決を徹底する	いじめ等の状況及びいじめ対応に関する生徒の肯定的回答の対前年比増	学校教育アンケート等	年度末	△				
	基本的生活習慣の確立	・生活習慣改善の重要性を理解させるとともに、困難に挑戦する姿勢を身につけさせる	自己肯定感を高める指導、体力向上指導及び保健指導等を重層的に展開し、困難にも自ら進んで挑める姿勢を身につけさせる	自己肯定感及び生活習慣に関する生徒の肯定的回答の対前年比増等	学校教育アンケート等	年度末	○	・養護教諭が作成する「保健だより」や保健室前の掲示などを通じて積極的な情報発信を行い基本的生活習慣の改善に努めている。			
開かれた学校づくり	情報の発信等	・ICTを活用した効率的な情報発信を展開する	学校HP、tetoru、オンライン動画配信を活用して情報発信の進化と効率化を図るとともに、説明会等への保護者参加を容易にする	学校HPへのアクセスの前年比向上とtetoru等の効果的利用等	ホームページアクセスと保護者等の声	年度末	○	・学校HPの更新、各種オンライン動画配信などを積極的に行い、情報発信を強化している。 ・校区内3校の合同研修等を通じて学校群グランドデザイン策定に向けて連携を強化している。 ・国語科書写において府立金岡高校書道教諭による指導を導入している。			
		・学校群のグランドデザイン策定を通じて、地域の理解と協力で支えられた学校運営基盤を構築する	★地域社会のニーズを踏まえた学校群グランドデザインを策定し、地域との関係強化を図る	学校との関係性に係る保護者の肯定的回答の対前年比増等	学校教育アンケート及び保護者等の声	年度末	△				

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------